



六郷 ろくごう

六郷小学校

H29. 6. 2

No. 8

自然を満喫した保呂羽での自然教室

5月23日・24日に、5年生が「保呂羽山少年自然の家」で自然教室を行いました。小学校を卒業する時期に、6年間で一番思い出に残っている行事はと聞くと、修学旅行よりも自然教室をあげる子どもが実は多いのです。それだけ子ども達にとっては、自然と触れ合えることは楽しいと感じているようです。当日は、1日目が登山、野外炊飯、ナイトハイクが行われました。2日目は、カヌーを行いました。



カラ松林での出会いの集い

(登山の様子)



ワラビを取りながら



熊除けのガンガン



下りも大変！



頂上にある神社でお昼

子ども達の作文から

(5年松組)

特にわたしが楽しかったことは、登山です。登りは一番後だったけど、下りは一番前でロープを使っておりたからです。野外炊飯では、お米がはんごうに当たっている部分におこげができていてびっくりしました。カヌーでは、チンしそうだったけど、ひっくり返らなかったのがよかったです。ナイトハイクでは、夜にちょうちん一つで森の中を歩いたし、私のグループがスタートするときに森から悲鳴が聞こえたのでこわかったけど、みんなで歌を歌いながらゴールできたのでよかったです。



(5年松組)

ほろわんパークに着き、すぐ行った保呂羽山。上り下りがとてもはげしくて転びそうだったけど、勇気を出しちょう上に向かい、でこぼこ道も上り下りもがんばった後のお弁当はおいしかったです。野外すいはんで、わたしはすいじで野菜を切るのがとてもむずかしく、うすく切った野菜はやわらかくしあがり、とてもおいしいカレーライスができてよかったです。



ナイトハイクは、とても暗い夜道で木にぶつかったりしてこわかったので、悲鳴をあげている人もいたけど、友達と歌ったりしてゴールを目指しました。意外な友達がいっぱいいました。カヌーでは、こぐときに激しくゆれて、チンしそうでした。でも、ゆれてもゆれても、こつとつかむと安定することができ、すいすいとカヌーをこぐことができました。



(野外炊飯の様子)



おかわりをしよう！



おいしそうにできたね！



写真屋さんもどうぞ



かまど担当は大変

(5年竹組)

わたしが一番楽しかったのは、「カヌー」です。カヌーでは後半のはんでした。最初はみんなのことを見ていました。前半が終わって、わたしの番になりました。池に入ったときは、しょうげきが大きくてびっくりしました。最初は上手にこげなくて、変な方向に曲がったり、友達とぶつかったりしていました。でも、だんだんなれて遠くまで行けたので、うれしかったです。またやりたいです。

楽しかったことはもう一つあります。二つ目は「登山」です。登山ではとてもつかれました。登りがきつかったです。特にくさりを使って登るところがつかれました。羽宇志別神社で食べたごはんは、かくべつにおいしかったです。下りはロープを使っておりました。ロープを使っておるのはこわかったけど、とても楽しかったです。

自然教室は、とても楽しかったです。またみんなで楽しく協力して、いろいろなことを成功させていきたいです。

(カヌーの様子)



まずはジャケットを着て



こうやってこぐんだよ



すぐに慣れて、どんどん進めるようになりました。



(5年竹組)

カヌーで最初はじゅんちょうでした。オールを使っておそく進んだけど、何とかおくにきました。鳥の声がたくさん聞こえて、こんなに鳥のしゅるいがいるとは思いませんでした。スタートにもどるときに、木のえだにたくさん当たってしまいました。そしたら、大きくゆれてたおれました。その後は、自力でスタートのところまでおよいで、何とかつきました。たくさんぬれたけど、カヌーは意外とかんたんでした。



余裕のピースサイン



職員の方と握手してお別れ

子ども達にとって必要な体験とは

どれだけ魅力的な自然教室であったかは、子ども達の作文や写真からお分かりになっていただけたと思います。小学校での行事で1位に選ばれるのも、当然であるとも感じられたことと思います。実は私(校長)は、2年間、保呂羽山少年自然の家の所長として勤めました。当時は、この「保呂羽山少年自然の家」をなくすところまでいきかけました。利用者が減少していることもあり、県全体の施設の見直しの中で対象となってしまったのです。しかしながら、幼稚園や保育園の利用を増やすことで、利用者も幾分回復し、いろいろな議論を経て何とか存続することが決まりました。当時も今も私の考えは変わりません。少年自然の家は子ども達にとって、なくてはならない施設です。今回の六郷小学校の子ども達の感想を読んで、あの時になくさずにすんで本当によかったですと感じました。

子ども達は基本的には、今も昔も変わらないと思います。楽しい体験をさせれば喜んでくれるし、たくさんのお話を聞かせてくれます。今の時代に生まれた子供達に、本当に必要な体験を用意してあげるのは、我々大人の役割ではないでしょうか。

